

内 科 第 3

1. 臨床医学教育の現状と評価

(1) 臨床医学教育の目標

- 1) 机上の学問では得られない知識を実際に患者に接して学び取ること
- 2) 患者の訴え、診療と検査を通して正しい診断と治療の計画を考える
- 3) 治療のみではなく患者の家庭環境、社会環境、経済的条件を考慮して医療を行う。
- 4) 医療水準の維持。
- 5) 新しい医学発展のための研究。

(2) 医員、医員（研修医）の現状と研修実績

1) 初期研修医の現状について

a. 研修実績について（対象期間：平成9年度－12年度）

入局者数と本院での研修期間（月数：平均値）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
入局者数	2人	3人	4人	2人
研修期間	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月

b. ローテート方式研修の実績

平成9年度：0人

平成10年度：0人

平成11年度：1人、研修した他科名：小児科

平成12年度：0人

2) 医員の受入れ状況（対象期間：平成9年度－12年度）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
採用者数	8人	8人	8人	8人

(3) 指導体制について

臓器別にグループ化し、チーム医療を行うとともに、主治医（助手以上）と医員・研修医の二人体制で治療を行う。

(4) 研修の評価について

卒業研修の評価項目に従い、グループ長と科長の下で評価している。

(5) 関連研修施設の現状

- 1) 濱生会熊本病院
- 2) 大分県立病院
- 3) 県立三重病院
- 4) 西別府病院
- 5) 新別府病院
- 6) 健和会大手町病院
- 7) 大分赤十字病院
- 8) 東国東広域病院

(6) 臨床教授

永松 啓爾（大分県立病院院長 神經内科学）

(7) 認定医・専門医・指導医の取得状況（平成9年度－12年度）

- 1) 日本国際学会／認定医 35名，専門医 2名，指導医 8名

- 2) 日本呼吸器学会／専門医 10名
- 3) 日本神経学会／専門医 23名
- 4) 日本肝臓病学会／認定医 1名
- 5) 日本消化器病学会／認定医 1名
- 6) 日本アレルギー学会／認定医 1名
- (8) 学会認定施設の状況
 - 1) 日本内科学会認定施設
 - 2) 日本呼吸器学会認定施設
 - 3) 日本神経学会認定施設
 - 4) 日本消化器病学会認定施設

※今後の課題と改善策

- ・プライマリーケアの充実（呼吸器、神経、消化器）
- ・遺伝子診断

2. 臨床医学研究の現状と評価

- (1) 臨床医学研究の目標
 - 1) 難治性呼吸器疾患の研究
 - 2) 難治性神経疾患の研究
 - 3) 難治性消化器疾患の研究
- (2) 研究スタッフ

教授 1名、助教授 1名、講師 1名、助手 7名
 実験助手（非常勤職員を含む） 7名
 事務職員（非常勤職員を含む） 2名
- (3) 研究領域と研究課題（対象期間：平成9年度－12年度）

主な研究課題名

 - 1) 肺肉芽腫性疾患の病態の解析と治療
 - 2) 肺線維症の纖維化の病態研究と治療
 - 3) 難治性神経・筋疾患の研究と治療
 - 4) 肝線維化と分子生物学的研究
- (4) 博士（医学）の学位の取得状況（平成9年度－12年度）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
取得者数	1名	2名	2名	1名

(5) 学会、研究会活動（シンポジウム、特別講演、学会役職等）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
学会発表 (国際)	12回	13回	6回	8回
(国内)	18回	16回	13回	12回
(地方)	18回	20回	25回	16回
(司会・座長)	7回	8回	9回	11回
シンポジウム特別講演等 (国際)	0回	1回	3回	0回
(国内)	2回	2回	2回	2回
(地方)	1回	1回	1回	2回
(司会・座長)	1回	2回	2回	2回

学会役職（評議員、理事等）（平成9年度－平成12年度）	
日本内科学会	津田富康（評議員）
日本呼吸器学会	津田富康（評議員、理事） 水城まさみ（評議員、理事） 杉崎勝教（評議員、理事） 宮崎英士（評議員）
日本結核病学会	津田富康（評議員、理事） 杉崎勝教（評議員、理事） 宮崎英士（評議員、理事）
日本サルコイドーヌス学会	津田富康（理事、評議員） 杉崎勝教（評議員）
日本神経学会	熊本俊秀（評議員、世話人） 津田富康（世話人） 三宮邦裕（評議員）
日本自律神経学会	三宮邦裕（評議員）
日本神経治療学会	熊本俊秀（評議員）
日本末梢神経学会	熊本俊秀（評議員）
日本神経感染症研究会	熊本俊秀（世話人）

(6) 研究論文（英文、和文）（平成9年度－12年度代表論文10編）

- 1) Kumamoto T, Ueyama H, Suhihara R, Koinai E, Goll D.E., Tsuda T : Calpain and cathepsins in the skeletal muscle of the inflammation myopathies. Eur Neurol 37 : 176-181, 1997
- 2) Kumamoto T, Ueyama H, Sugihara R, Shigenaga T, Tsuda T : Elevated soluble intercellular adhesion molecules-1 in inflammatory myopathy. Acta Neurol Scand 95 : 34-37, 1997
- 3) Ueyama H, Kumamoto T, Fujimoto S, Murakami T, Tsuda T : Expression of three calpain isoform genes in human skeletal muscles. J Nerol Sci 155 : 163-169, 1998
- 4) Sugisaki K, Tsuda T, Kumamoto T, Akizuki S : Clinicopathological characteristics of the lungs of the patients with human T cell lymphotropic virus type I-associated myelopathy. Am J Trop Med Hyg 58 : 721-725, 1998
- 5) Kumamoto T, Abe T, Nagao S, Ueyama H, Tsuda T : Immunohistochemical study of

- clathrin in distal myopathy with rimmed vacuoles. Acta Neuropathol 571-575, 1998
- 6) Nagao S, Kumamoto T, Masuda T, Ueyama H, Toyoshima I, Tsuda T : Tau expression in denervated rat muscles. Muscle & Nerve 22 : 61-70, 1999
- 7) Mizuki M, Koatsu H, Akiyama Y, Iwane S, Tsuda T : Inhibition of eosinophil activation in bronchoalveolar lavage fluid from atopic asthmatics by Y-24180, an antagonist to plateletactivating factor. Life Science 65 : 2031-2039, 1999
- 8) Ando M, Miyazaki E, Fumami T, Kumamoto T, Tsuda T : Interleukin-4-producing cells in idiopathic pulmonary fibrosis : An immunohistochemical study. Respirology 4 : 383-399, 1999
- 9) Ueyama H, Kumamoto T, Nagao S, Masuda T, Sugihara R, Fujimoto S, Tsuda T : A novel mutation of the McLeod syndrome gene in a Japanese family. J Neurol Sci 176 : 151-154, 2000
- 10) Sawabe T, Shiokawa S, Sugisaki K, Tsuda T, Yamamoto K : Accumulation of common clonal T cells in multiple lesions of sarcoidosis. Molecular Med 6 : 793-802, 2000
- (7) 高度先進医療開発研究の現状
- 1) 遺伝子診断
 - 2) 開胸肺生検での診断と治療
- ※今後の課題と改善策
- ・倫理規定の制定
 - ・手技の改善

3. 診療の現状と評価

- (1) 診療の目標
- 1) 病院連携の整備
 - 2) クリティカルケア
 - 3) 地域医療への貢献
- (2) 診療実績（平成9年度-12年度）

区分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
外来患者数	10,645人	11,296人	11,743人	11,309人
初診患者数	714人	899人	787人	747人
紹介患者数	298人	319人	330人	380人
入院患者数	17,008人	16,459人	17,288人	16,234人
平均在院日数	60.6日	57.4日	58.0日	43.7日
平均病床稼働率	93.2%	90.9%	96.4%	92.5%
死亡退院率	8.3%	5.1%	4.9%	7.1%
剖検率	43.5%	21.4%	42.9%	28.0%

- (3) 特殊検査・手術症例等
- 開胸肺生検（VAT）
- 睡眠時無呼吸、睡眠時の呼吸機能検査

- (4) 特殊専門外来

- 1) 喘息外来
 - 2) サ症外来
 - 3) 脳循環外来
- (5) 高度先進医療・先端医療の導入
遺伝子診断
※今後の課題と改善策
・各種の疾患単位の患者の会の設立と提携

4. 国際交流について（平成9年度～12年度）

- (1) 国際医療協力体制
なし
- (2) 留学（長期外国出張）
 - 1) ジョンズホプキンス大学（アメリカ合衆国）、～平成10年3月、1名
 - 2) タ～平成9年3月～平成11年5月、1名
 - 3) タ～平成11年3月～平成13年6月、1名
- (3) 外国出張（国際学会活動など）
 - 1) 平成9年
 - 1997 ALA/ATS International Conference 5人、アメリカ合衆国
 - European Respiratory Society Annual Congress 3人、ドイツ
 - 第5回世界サルコイドーシス学会 4人、ドイツ
 - XIV World Congress of Neurology 4人、アルゼンチン
 - 2) 平成10年
 - 1998 ALA/ATS International Conference 7人、アメリカ合衆国
 - IX International Congress on Neuromuscular Diseases 5人、オーストラリア
 - 3) 平成11年
 - 1999 ALA/ATS International Conference 4人、アメリカ合衆国
 - 10th Asian & Oseanian Congress of Neurology 5人、フィリピン
 - 4) 平成12年
 - 2000 ALA/ATS International Conference 4人、アメリカ合衆国
- (4) 外国人研究者の受け入れ状況

年 度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
目 的	研 究	研 究		
受 入 人 数	1名	2名		
出 身 国 名	ニカラグア、 アルゼンチン			
滞 在 期 間	18ヶ月	3ヶ月		
費 用 負 担	文 部 省	文 部 省		

- ※今後の課題と改善策
・外国大学との定期的交流の促進

5. 国内学会や研究会の開催（平成9年度～12年度）

診療科で担当した地方学会・研究会、全国規模の学会・研究会

学会等の名称	開催期日	参加人員	発表形式	その他
日本呼吸器学会九州地方会	1997年10月	500名	口演・ポスター	
日本神経学会九州地方会	1998年9月	100名	口演	
日本サルコイドーシス学会九州地方会	1998年7月	50名	口演	
日本サルコイドーシス学会総会	2000年10月	500名	ポスター・口演	

※今後の課題と改善策

なし

6. 地域との関わり

診療科で担当した大分県内の研修会、研究会について

研修会等の名称	開催頻度	参加人員	発表形式	認定医資格継続適合の有無
大分県呼吸器疾患研究会	年2回	100名	口演	
大分チェストカンファレンス	年6回	30名	口演	
大分めまい研究会	年3回	50名	口演	
大分てんかん懇話会	年3回	50名	口演	
大分頻尿・尿失禁研究会	年3回	50名	口演	
大分感染症研究会	年2回	100名	口演	
大分県肝臓疾患研究会	年3回	50名	口演	
大分県脳卒中懇話会	年3回	40名	口演	
大分肺癌懇話会	年4回	50名	口演	
喘息教室	年6回	30名	口演	
Brain 21 in Oita	月1回	50名	口演	
大分消化器病研究会	月1回			

※今後の課題と改善策

・地域医療に還元できる研究会にする。

7. 診療科の特色

- (1) 呼吸器疾患のプライマリーケア
- (2) 神経疾患のプライマリーケア
- (3) 消化器疾患のプライマリーケア

8. 将来展望

- (1) 急性疾患のプライマリーケアから慢性疾患の治療研究まで一貫した診療体制をつくる。